

# 令和元年度 第2回学校評議員会 会議録

## 1 会議の名称

令和元年度岩手県立住田高等学校第2回学校評議員会

## 2 会議の構成

### (1) 学校評議員

菊池 和子 氏	住田町社会福祉協議会
佐々木 純 氏	東海精密工業岩手事業所管理部部長代行
佐藤 清司 氏	会社員
三浦 政勝 氏	住田町立有住中学校長 (代理 千田裕子 副校長)
山内 米子 氏	主婦

### (2) 学校職員

菅野 誠二	校長
菅野 幸貴	副校長
利府 崇	教務主任
三浦 天豪	総務主任
高橋 義柄	生徒指導主事
西出 和久	進路指導主事
大澤ゆかり	総務課

## 3 会議の開催

令和2年2月18日(火) 14:30~15:45 [住田高等学校会議室] 評議員5人、学校職員7人

## 4 会議の次第

- (1) 開会のことば
- (2) 校長あいさつ
- (3) 学校概況(経過)報告について
- (4) 学校評価に係る報告及び学校経営計画評価指標の達成状況について
- (5) 学校概況について
- (6) 意見交換
- (7) その他
- (8) 閉会のことば

## 5 会議の概要

### (1) 校長挨拶

本日の評議員会は学校概況・報告や学校評価を中心に話し合っていていただく。率直なご意見を頂戴したい。

### (2) 学校概況(経過)報告について(資料に基づいて説明)

### (3) 学校評価に係る報告及び学校経営計画評価指標の達成状況について(資料に基づいて説明)

### (4) 学校概況について(資料に基づいて説明)

#### ア 教務課

評議員：不登校の生徒はいるのか。

学校側：1年生の生徒2名が進路変更した。また、1年生に欠席の多い生徒が在籍している。

評議員：マナトレ、コグトレとは何か。

学校側：マナトレとは学び直しトレーニングという基本的な内容の学習教材である。平成27年度から朝読書の時間に使用している。コグトレとは認知トレーニング教材である。

評議員：ウェブ学習サービスを生徒全員が利用しているということであるが、自己負担はどのくらいか。  
学校側：教育振興会から支出しているので、生徒の自己負担はない。

## イ 生徒厚生課

学校側：情報提供として、岩手県の方針で来年度からは部活動が強制加入ではなくなる。生徒には先週周知した。保護者にも文書で通知する予定である。また、県からは校則の見直しも指示されている。もともと本校に理不尽な校則はないが、身体に直接触れる指導はしない方向である。

学校側：今年度のいじめ認知件数は過去最高の24件である。小さな相談も見逃さずに対応しようという姿勢の現れだと評価している。いじめについては、社会通念上のいじめといじめ防止法上のいじめは違っている。本校では生徒が先生に相談しやすいことと、法律的には苦痛を感じればいじめと判断されるのでこのような件数となっている。

評議員：SNS上のいじめはあるのか。

学校側：無視より、強い表現の文章に傷つくケースが多い。見えない世界での出来事ではあるが、指導を重ねている。

評議員：携帯電話の指導は、保護者・本人を中心に解決を目指すということだが、年度当初に指導しているのか。

学校側：例年情報モラル教育を6月に実施しているが、年度始めにトラブルが多いので、来年度は4月に生徒・保護者対象に実施する予定である。新入生の保護者には入学手続きや入学式で連絡する予定だが、在校生の保護者への連絡方法は考慮中である。

評議員：中学校では昼に生徒、夜に保護者に対して講演した。情報モラルについては大人の方が知らないことがあるので、保護者への周知も大切である。

評議員：保護者に伝えることが大切と考えるので、中学校の入学式で情報モラルについて話している。保育園の親から周知が必要ではないか。うちは大丈夫という家の子供ほどトラブルがある。

## ウ 進路指導課

学校側：進路に関しては教職員の評価が低い。来年度からは模擬試験計画の見直し、進路の手引きの作成など様々な改善策をとっていく。進路選択に関しては、職場見学もオープンキャンパスも複数参加させることで、比較して選択できるように指導した。

住高ハウス〇〇は、バス待ちの待機場所としてだけでなく、職員に進路について相談したり、学習したりする場所として定着してきたと思う。

## (5) 意見交換

評議員：いじめ、SNSのトラブル等があるが、仲がよくななくても付き合っていける子供に育ててほしいと考えている。

学校側：根底に必要とされる力は自己肯定感である。本校生徒は入学時に自己肯定感の低い生徒が多い。本校では何かしらの役目を果たさなければならないので、高校で認められて自己肯定感を培っていると思う。

評議員：地域創造学で、住田の良いところを知ることはよいと思う。現実「都会に行きたい」とやめた社員がいるので地域の良いところを知ってほしい。

評議員：小規模校ながらきめ細かい指導をしていただいている。時代の流れがあり、自分の高校生の時代とは違うと思うが、最後に生徒が住高でよかったと思える学校であってほしい。住田町の子供が住田高校に入らないのが寂しい。

評議員：中高の連携が一番難しいと言われているが連携はできると思っている。中学校で解決できなかった課題を住田高校で続けたいという生徒もいる。今後ともよろしくお願ひしたい。

評議員：ボランティア活動が地域に溶け込んでいる。すみた荘で夏祭りボランティアをしてもらったりした。長い歴史があるし、町民の明るい話題になっている。これからもよろしくお願ひしたい。選挙権が18歳以上になったが、若者は社会の出来事に疎いので新聞の見出しだけでも見てほしいと思う。

#### (6) その他

次回の開催日程は、令和2年5月15日（金）午後の予定であることを確認した。